平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

1. 機 関 番 号	1 4 6 0 3	研究機関名	奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名	基盤研究(A)	4. 研究期間	間 平成24年度~平成26年度
5. 課題番号	2 4 2 4 0 0 0 5		
6. 研究課題名	高性能アクセラレーション基盤技術の研究		

7. 研究代表者

研 究 者 番 号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 3 1 4 1 7 0	ナカシマ ヤスヒコ 中島 康彦	情報科学研究科	教授

8. 研究分担者

	矽	F 3	究	者	番	号		研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
4	0	5	6	7	1	5	3	ヤオ ジュン 姚 駿	情報科学研究科	准教授

9. 研究実績の概要

【1】限りあるデータ供給能力と演算器の関連付け(主にハードウェア構成)は、電力効率や性能見通しに難点があるマルチスレッディング機構を投入することなくデータ供給性能を目一杯使う、低電力(電力効率10倍)かつ性能見通しの良い(チューニングコスト半減)アクセラレーション技術の創出を目指すものである。H26年度は、従来型演算器アレイ型アクセラレータの弱点であるデータ伝搬オーバヘッドを削減し、さらに、ベクトル演算機構としても利用可能な新しい多数演算器制御方式の12.5mm LSIを開発し、評価ボード上で正常動作を確認した。消費電力はわずかに0.88Watt、電力あたり性能は7.7GF1ops/Wattに達した。【2】アプリケーションとアクセラレータの関連付け(主にバイナリトランスレータ)は、迅速な導入を可能とするために、新命令セットとコンパイラを開発するのではなく、汎用CPUの命令列からアクセラレータ用命令列を生成するバイナリトランスレーション技術の創出に取り組むものである。H26年度は、バイナリトランスレータの開発を完了し、さらに、ステンシル計算に最適化したパラメタライズドライブラリの開発を行った。現在、アプリケーションプログラムが、LSI上で動作している。【3】ハードウェア機構とアクセラレータ用命令列の動的適合(主に動的チューニング機構)は、幅優先実行するベクトル演算方式、深さ優先実行する演算器アレイ方式、あるいは、複合方式やその他の方式の組み合わせにより実行するチューニング技術に取り込むものである。H26年度は、前述したライブラリの1機能として実装した。また、グラフ処理への適用手法に関して研究を進め、トランザクショナルユニットの追加による高性能化の可能性を示した。

(1) 演算器アレイ	₍₂₎ アクセラレータ	(3) ステンシル計算	(4) ベクトル計算
(5) 低電力	₍₆₎ グラフ処理	(7)	(8)
現在までの達成度 			
区分)			
理由) 年度が最終年度であるため	め 言えしかい		
十尺が取終千尺であるに	D(10/(0/4 V 1)		
今後の研究の推進方策			
 今後の推進方策)			
	め、記入しない。		
 今後の推進方策)	め、記入しない。		
今後の推進方策)	め、記入しない。		
 今後の推進方策)	め、記入しない。		
 今後の推進方策)	め、記入しない。		
	め、記入しない。		

13.研究発表(平成26年度の研究成果)

〔雑誌論文〕計(5)件 うち査読付論文 計(5)件

著 者 名	論 文 標 題								
Jun Yao, Yasuhiko Nakashima, Mitsutoshi Saito, Yohei Hazama, Ryosuke Yamanaka	A Flexible, Self-Ti	uning, Fault-T	olerant Functior	al Unit Arra	y Pro	cess	or		
雑誌名		査読の有無	巻			発行	亍年		最初と最後の頁
IEEE Micro		有	34-	5	2	0	1	4	54 - 63
掲載論文の[OOI(デジタルオ)	ブジェクト識別]子)						
10.1109/MM.2014.92									

著 者 名	論 文 標 題								
			ose Reconfigurable Accele	rator LAPP and Its P	ower States for				
雑誌名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁				
IEICE Trans.		有	E97-D-12	2 0 1 4	3092-3100				
掲載論文の	DOI(デジタルオ)	ブジェクト識別] 子)	•	-				
10.1587/transinf.2014PAP0025									

著 者 名			論	文	標	題		
Takanori TSUMURA, Yuuki SHIBATA, Kazutaka KAMIMURA, Tomoaki TSUMURA, Yasuhiko NAKASHIMA	Hinting for Auto-f	Memoization Pi	rocessor base	ed on S	Static B	inary	Analysis	
雑 誌 名		査読の有無		巻			発行年	最初と最後の頁
Proc. 2nd Int'l Workshop on Computer Systems and Architectures		有	C	SA'14		2		426-432
掲載論文の	DOI(デジタルオ)	ブジェクト識別	子)					
10.1109/CANDAR.2014.49								

著 者 名			論 文 標	題				
Yoshikazu Inagaki, Shinya Takamaeda-Yamazaki, Jun Yao, Yasuhiko Nakashima	Performance Evalu	ation of a 3D-	Stencil Library for Distri	uted N	/lemo	ry Ar	ray A	occelerators
雑 誌 名		査読の有無	巻		発	行年		最初と最後の頁
Proc. 2nd Int'l Workshop on Computer Systems and Architectures		有	CSA'14	2	 0	 1 	 4	388-393
掲載論文の	DOI(デジタルオ)	ブジェクト識別	月子)					
10.1109/CANDAR.2014.100								

著 者 名	論 文 標 題							
Yuuki Shibata, Takanori Tsumura, Tomoaki Tsumura and Yasuhiko Nakashima					r Processor			
雑誌名		査読の有無	巻		3		最初と最後の頁	
Proc. Int'l Symp. on System-on-Chip 2014			SoC2014		2	0 1 1 4 1 1 1 4	1-8	
掲載論文の	DOI(デジタルオ)	ブジェクト識別	子)	-	-	<u> </u>	•	
10.1109/ISSOC.2014.6972435								

〔学会発表〕 計(15)件 うち招待講演 計(0)件

【子云光衣』 計(↑3)件 75指付碘澳 計(♥)件						
発 表 者 名	発 表 標 題					
Shohei Takeuchi, Thi Hong Tran, Shinya Takamaeda, Yasuhiko Nakashima	A Parameterized Many Core	e Simulator for Design Space Exploration				
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所				
IEEE Symposium on Low-Power and High-Speed Chips	2015年04月13日~2015 年04月15日	Yokohama Bunka-Center (Yokohama)				

発 表 者 名		発	表	標	題	
Jun Yao, Yasuhiko Nakashima, Kazutoshi Kobayashi, Makoto Ikeda, Wei Xue, Tomohiro Fujiwara, Ryo Shimizu, Masakazu Tanomoto, Yangtong Xu, Xinliang Wang, Weimin Zheng	XStenciler: a 7.1GFLOPS/V	V 16-Core Copro	cessor	with a	Ring Struct	ture for Stencil Applications
学 会 等 名	発表年月日				発表場	所
XStenciler: a 7.1GFLOPS/W 16-Core Coprocessor with a Ring Structure for Stencil Applications	2015年04月13日 ~ 2015 年04月15日	Yokohama Bun	ka-C€	enter(Yokohama)	

		3 F IX					
発 表 者 名	発 表 標 題						
Anna Zhang, Jun Yao, Yasuhiko Nakashima	Lowering the Complexity of	k-means Clustering by BFS-dijkstra method for Graph Computing					
学 会 等 名	発表年月日	発表場所					
XStenciler: a 7.1GFLOPS/W 16-Core Coprocessor with a Ring Structure for Stencil Applications		Yokohama Bunka-Center(Yokohama)					
発 表 者 名		発 表 標 題					
Masakazu Tanomoto, Jun Yao, Yasuhiko Nakashima, Yangtong Xu, Xinliang Wang, Wei Xue		obal Shallow-water Atmospheric Model on Xeon Phi					
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所					
IEEE Symposium on Low-Power and High-Speed Chips	2014年04月14日~2014 年04月16日	Yokohama Bunka-Center (Yokohama)					
発表者名							
Shuto Kurebayashi, Jun Yao, Yasuhiko Nakashima	A Pipelined Newton-Raphso Memory CGRAs	on Method for Floating Point Division and Square Root on Distribted					
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所					
IEEE Symposium on Low-Power and High-Speed Chips	2014年04月14日~2014 年04月16日	Yokohama Bunka-Center (Yokohama)					
発 表 者 名		発 表 標 題					
Tatsuhiro Hirano, Jun Yao, Yasuhiko Nakashima	Tuning of a Breadth First b	ased Triangle-counting by using Multi-threading					
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所					
IEEE Symposium on Low-Power and High-Speed Chips	2014年04月14日~2014 年04月14日	Yokohama Bunka-Center (Yokohama)					

		3 / JA		
発 表 者 名	発	表標題		
竹内昌平, 高前田(山崎)伸也, 姚駿, 中島康彦	次世代アプリケーションのための包括的なアー	次世代アプリケーションのための包括的なアーキテクチャ探索環境の検討		
N/ A 75 T	77.00	77. 17. 17. 47.		
学会等名	発表年月日	発 表 場 所		
信学技報CPSY2014-89	2014年12月01日~2014 株12月02日 (株振興会館			
光 表 者 名	坐	表 標 題		
枝元正寛, 高前田伸也, 姚駿, 中島康彦	データムーピングボトルネックを解決するため			
字 会 等 名	発表年月日	発表場所		
信学技報CPSY2014-91	2014年12月01日~2014 機械振興会館 年12月02日			
発表者名 平野竜洋,高前田伸也,姚駿,中島康彦	発 Triangle Countingのための大規模グラフ分割・			
一下 封电件,问前山时已,观教,不 <i>知陈多</i>	Thange Countingのための人が様プラブガ語	T/A		
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所		
信学技報CPSY2014-73	2014年11月26日 ~ 2014 ビーコンプラザ 年11月28日	(別府国際コンベンションセンター)		
発 表 者 名	XX.	表標題		
紅林修斗, 高前田伸也, 姚駿, 中島康彦	最短経路探索の並列化と各種プラットホーム			
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所		
信学技報CPSY2014-74	2014年11月26日 ~ 2014 ビーコンプラザ 年11月28日	(別府国際コンベンションセンター)		

		~ /I/X			
発 表 者 名		発 表 標 題			
清水怜, 田/元正和, 高前田(山崎)伸也, 姚駿, 中島康彦	メモリネットワークベースアクセラレ	メモリネットワークベースアクセラレータの試作と評価			
24 A 07 G	77.4.5.0.0	7. + IB cc			
学 会 等 名 信学技報CPSY2014-81	発表年月日	発表場所			
16子1文4収CPS12U14-61	年11月28日	-コンプラザ(別府国際コンベンションセンター)			
発 表 者 名	<u> </u>				
田/元正和, 高前田(山崎)伸也, 姚駿, 中島康彦	メモリネットワークベースアクセラし	ノータを用いた畳み込みニューラルネットワーク処理			
学 会 等 名	発表年月日	発表場所			
信学技報CPSY2014-82	2014年11月26日 ~ 2014 ビー 年11月28日	- コンプラザ(別府国際コンベンションセンター)			
発 表 者 名	1	発表標題			
高前田(山崎)伸也,枝元正寛,姚駿,中島康彦	PyCoRAMを用いたグラフ処理FPGAアクセラレータ				
学 会 等 名	発表年月日	発表場所			
信学技報CPSY2014-10		常メッセ 新潟コンベンションセンター			
発 表 者 名		 発 表 標 題			
清水怜,高前田(山崎)伸也,姚駿,中島康彦	メモリインテンシブアレイアクセラ				
学 会 等 名	光表年月日	発表場所			
信学技報CPSY2014-11		ミメッセ 新潟コンベンションセンター			

							3版
発 表 者 名			発表	標是	頁		
小池和正,高前田(山崎)伸也,姚駿,中島康彦	=1- 5)	ルネットワーク処理	のエラー削減に向けた命	令実行手	法		
W A # 47	77	·= +	1	77.	± 18	rr	
学 会 等 名 信学技報CPSY2014-33		卷表年月日 07月29日 ~ 2014	発表場所 発表場所 未鷺メッセ 新潟コンベンションセンター				
	年07月3	80日	7,00				
〔図書〕計(0)件							
著 者 名				出 版	社		
書	名	-		発行	亍年	総	ページ数
14.研究成果による産業財産権の出願·取得状況							
〔出願〕計(1)件	₹ n□ ±×	+ 4 -4-1-1-2	文光叶文作 の往来	— —	1115		国内・外国の別
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、	留写	山原	算年月日	国内:外国仍别
データ処理装置	中島康彦·高前田 伸也	同左	特許、特願2015-0798	552	2015年	€04月08日	国内
〔取得〕計(0)件							
産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、	番号	取得	弄 年月日	国内・外国の別
					出原	算年月日	
	1		<u> </u>				

1	5	備	老

コンピューティング・アーキテクチャ研究室 ittp://arch.naist.jp/	